

令和4年度 東新潟中学校学校経営の基本方針

1 目指す学校像

一人一人の子どもの成長が実感できる地域とともにある安心安全な学校

2 スクール・ポリシー

「力の東新」

3 東新潟中学校の教育目標・重点目標（目指す生徒の姿・付けたい力）

「たくましく生きる生徒」

- ・自分で考え行動しよう
- ・認め合い支えあい高め合おう

4 指導の重点（戦略）

- ・主体的対話的で深い学びのある授業づくり
- ・自律性と社会性を育成する特別活動や総合的な学習の時間の充実
- ・多様性や個性を伸ばすUDLを基本とした教育環境づくり
- ・未来を拓く確かな力を身につけさせるための教育課程の工夫

5 核となる具体的な手立て（戦術）

- ・ICT機器（iPad, 大型モニターなど）を活用した授業改善の推進
- ・授業を通じた「成長を促す生徒指導」と「支持的風土」の促進
- ・生徒理解をもとにした学習支援の継続・連携・強化
- ・一人一人の成長を確かなものとするための学校行事の改善
- ・自らの成長を実感するためのキャリアノートの活用
- ・一人一人の主体的な学びをささえる東新スタンダードの重視
- ・タイムリーな情報発信による連携強化と信頼確保

6 教職員の基本姿勢

- ・子どもファーストの意識改革（危機管理）
- ・早期発見・早期対応（いじめ防止・不登校解消）
- ・共に学ぶ謙虚な姿勢（共感，傾聴，熟議）
- ・業務改善による働き方改革（ワーク・ライフ・バランス）

7 指導の構え

教職員の働きかけ、かかわりによって、子どもの成長はずいぶん違ったものになる。思春期の不安定な子どもは、皆さんからの支えや導きによって、これからの人生の基盤ができます。そのような大切な時期に、子どもたちの成長を間近で実感できる職業は他にありません。教育職についているという醍醐味を味わいながら、3年間で一人一人の子どもたちを大きく成長させましょう。

(1) 安心安全な学校をめざして、互いに声を掛け合える職員集団でありたい。

一人一人の子どもが安心して通える学校であることは、すべての教育活動の基盤です。大人が想像できないような成長過程の悩みをもっているという前提で接しよう。

○常日頃から子どもの成長を話題として、一人一人の可能性や持ち味が伸長するように働きかけよう。

○子どもの変化を見逃さず、早期発見・早期対応を心がけよう。

○問題が生じたときは速やかに情報を共有し、複数対応を心がけよう。

○一人一人の生徒、保護者、地域の声に耳を傾け、問題が生じている背景を含めた指導に心がけよう。

(2) 新たなアイデアを積極的に出し合い、果敢に挑戦する職員集団でありたい。

前年度の反省に立ち、効果が薄いものやうまくいかなかったことについて改善をしていく必要があります。スクラップアンドビルドの考えで、まずは必要かどうかを考えましょう。「限られた時間で、最大の効果」という考えを基本として持続可能な教育課程をつくりましょう。

○「目的」と「方法」を吟味してこれまでの提案を見直そう。

○よりよい提案をするために見通しをもって計画を立てよう。

○自分のアイデアを様々な場面や同僚に積極的に提案しよう。

(3) 授業研修を中核として、一人一人の授業力の基盤づくりに心がけよう。

学校で過ごす時間の中心をなすのは授業です。一人一人の教職員の授業力が向上することは、生徒ならびに保護者の信頼を得ることになります。ICT機器を使用したGIGAスクール構想が推進される中、一人一人の教職員がこれまでの経験だけでなく、新たなことにも挑戦し、授業の腕を磨きましょう。「学び続ける」姿勢が一層大事になってきます。

○生徒も教師もiPadを活用して、主体的対話的な学びを一層進めましょう。

○「課題」「まとめ」「振り返り」を継続して、1単位時間の学びの積み重ねを進めよう。

○一人一人の生徒が成長を実感するためのキャリアノートの活用を進めましょう。

○特別活動や学校行事、総合的な学習の時間（キャリア教育、地域貢献など）をとおして、自主性、協働性、創造性を育もう。

(4) 学校を応援してくれる関係機関・団体と良好な関係を築き、豊かな教育環境の整備に努める。

生徒はこの地域で生まれ育ち、将来、地域を支える人材になります。令和4年度よりすべての中学校区で、地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）をつくることになりました。学校の応援団の思いや考えを受け止めた学校経営に努める。

○学校運営協議会を前提として、学校の教育方針、教育課程などについて保護者・地域の理解と協力が得られるように努めよう。

○PTA、同窓生、地域の方々のマンパワーを活用して、多様な活動を計画しよう。

○子ども、保護者、地域の意見や思いをよりよい子どもの成長につなげよう。